

しんおんせん 議会だより

Shinonsen Town Council News Letter

No. 38

平成27年(2015)
4月23日

おもな内容

平成27年度一般会計予算可決	2~5
条例改正	6
補正予算	7
一般質問	8~19
委員会報告	20~22
採決一覧・議会日誌	23
みんなの広場	24

トピックス 広報誌発行10周年を記念し表紙等をリニューアルしました



4月5日(日)浜坂みなとほたるいか祭り

全日本わんこほたる選手権では、1チーム3人が湯がいたホタルイカの早食いに挑戦。会場には様々な表情が広がっていました。

期待に戦略生創方



れしました。本年
入学しました。

合併後最大の一般会計104億9,300万円 特別・企業会計含め全体185億5,479万円を可決

第72回（平成27年3月）定例会が3月3日に招集され、27日まで5日間の会期で開かれました。町長から平成26年度補正予算案と平成27年度予算案等が提出されました。平成27年度予算案は予算特別委員会を設置し、議長を除く14名の委員で7日間審議しました。今回は一般会計の議論を中心に報告します。

予算の規模は 合併後最大

予算の規模は、一般会計では104億9,300万円で合併後最大となっている。

また、特別会計及び公営企業会計を加えた全体では185億5,479万円。当初予算は通年予算で編成し、予測される全ての収入・支出を計上している。

基本は「元気づくりプロジェクト」の 継続

新温泉町では、国の動向を受け平成27年1月21日に「新温泉町地方創生総合戦略本部」を立ち上げ、地域再生に向けて新たな施策検討を行っている。我が町では、「元気づくりプロジェクト」の継続的推進を図りつつ、平成27年度は、若者定住

の受け皿づくりのため、民間の一段の奮起も求めながら、行政としてできる限りの雇用促進や起業支援を行うとしている。さらに、総合的な防災・減災

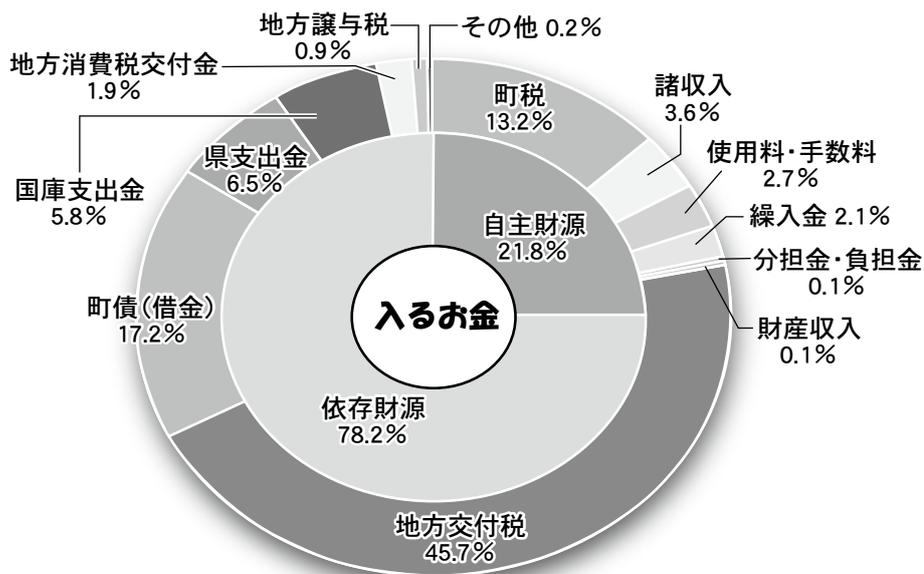
対策推進のため、町内全小中学校屋内運動場の吊天井を改修する。加えて、山陰海岸ジオパークのツールを活用し、一層の外国人観光客の誘客を図ることを重点施策とした「安心・元気・地方創生」予算となっている。施策の柱として①産業振興・雇用の創出②若者定住③山陰海岸ジオパークを活用した交流人口の拡大に向けた「元気づくりプロジェクト」を継続し、将来に向けて夢と希望を持つて暮らせる協働のまちづくりを推進。また、災害に強い自立した、安心・安全なまちづくりと、道路、橋梁等、公共インフラ補修対策事業を重点的に実施するとしている。

平成27年度 新温泉町一般会計 特別会計、企業会計予算

(単位：千円、%)

会計名	平成27年度 当初予算額	対前年度 増減率
一般会計	10,493,000	6.0
特別会計	国民健康保険事業特別会計	2,295,782 11.4
	後期高齢者医療特別会計	214,502 △1.9
	介護保険事業特別会計	1,695,797 △0.2
	浜坂地区残土処分 事業特別会計	136,354 73.3
	温泉地区残土処分 事業特別会計	52,430 154.6
	コミュニティ・プラ ント事業特別会計	49,548 △31.5
	七釜温泉配湯事業特別会計	40,046 94.9
	下水道事業特別会計	817,670 △10.7
合計	5,302,129 4.3	
公営企業会計	浜坂温泉配湯事業会計	159,908 77.3
	水道事業会計	942,864 △5.0
	公立浜坂病院事業会計	1,596,886 △29.4
	合計	2,699,658 △19.3
全体合計	18,494,787 0.9	

合併後10年! 地

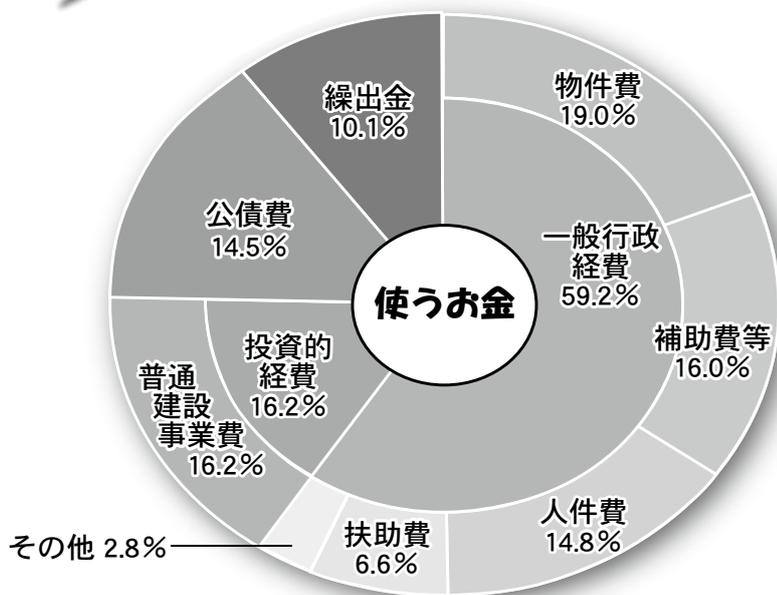


4月8日町内一斉に町内小・中学校入学式が行われ、本年度の中学校入学者は110名。浜坂中学校では66名。勉強とクラブ活動の両立に期待します。



ハマちゃん

収入の主は地方交付税
約46%、町税は13%。
国に頼っているね…。



支出は投資的経費が
16.0%。いろいろ工夫
されワクワクするね。
皆で応援しよう!!



湯たん

一般会計 全議員が斬りこむ!

平成 27 年度予算は、予算特別委員会を設置し委員長に中井勝議員、副委員長に谷口功議員を選出しました。3月19日から25日までの7日間にわたって一般会計・特別会計・企業会計の全12会計を審査しました。多くの議論がありました。紙面の都合のため一部を紹介します。

歳出

総務

Q ホームページの管理は。最新の情報を早急に載せるべき。

A トータル管理は企画課だが、各課の部分は各課での対応としている。

Q 産業フェアを町でしてはどうか。体験を取り入れた事業としては。

A 商工会とのタイアップで検討する。体験は子どもだけではなく、大人も検討したい。

Q ゆめぐりエクスプレス、空港接続としての利用率はどうか。

A 100人程度である。もつと関東でのPRに務めたい。

Q 総合戦略スケジュールは。

A まず、戦略骨格を定めてから。予定はH28

年8月までに作成したい。

Q マイナンバー制度、住民目線で見るとうるなか。

A ①本人確認手段が容易である。
②所得の把握が正確
③各申請等の省略化
④行政全体の効率化

Q 本庁舎の活用をもっと考えるべき。違法駐車が多い。

A 使い勝手が悪いのは分かるが、小規模の改善は努力・検討する。

Q 国際交流事業とは。

A 南ソウル大学等々、平成18年から10年経つたので、今度はこちらから出向いていきたい。中高生で10名程度とし、学校との協議を進めたい。

社会福祉

Q 社会福祉協議会の補助金で、デイサービス

事業は終わるのか。

A スタイルを変えて地域の公民館で実施したい。

Q 在宅サービスの食事支援は。

A 民生委員やボランティアにお願しているが、調査して対応したい。

Q 緊急通報システムを消防署にお願いしているが、日常の相談を含めて、民間へ委託するなど変更すべきだ。

A 今後、研究してみたい。

児童福祉

Q 認定こども園について認定されない場合はあるのか。

A 新制度については旧制度と違い認定されない場合がある。

Q 保育士は何人いるか。

A 正職17名、臨職37

名。

Q 保育給付金の財源は。

A 社会全体で支援していく。

衛生

Q 特定不妊治療費助成が減っているが。

A 現状と合わせ、県と相談して補正する。

Q リサイクルセンターの今後は。

A 引き続き町で運営する。

Q 北但ごみ処理場で合併処理の汚泥処理はできるか。

A 汚泥処理についてはまだ決まっていない。

Q 胃がん予防のためにピロリ菌の検査を。

A 今後、検討したい。

賛成

賛成

谷田一富議員

この予算の中で、特に昨年、反対理由の一つに上げられた浜坂高校助成金だが、新年度も予算計上されたことは高く評価したい。高校の問題は町づくりの中でも、最重要課題だと思っている。我々の

討論

反対

谷口 功議員

第3次安倍内閣が「企業が世界一、活動し易い日本」をつくるという、アベノミクス、原発再稼働、法人税減税、TPP参入、農協・農業委員会の実質的解体策動など、極端な大企業優遇とアメリカ従属の政治を加速させている。その一方で、消費税増税と、医療・介護をはじめ社会保障の軒並み削減が続き、暮らしが大変である。27年度予算が、暮らしを守るという明確な姿勢を示していない。ますます貧富の格差が拡大するばかりであり、反対する。

平成27年度一般会計予算

っていないか。生きがい作りや豊かな経験を話したりすべきではないか。

A 会員数は17名減っている。意見は参考にする。

Q サンシーホールは職場紹介だけでなく、働いている労働者の実態を調査すべきだ。

A 26社を訪問した。浜坂高校生の就職活動にも貢献している。

牧場公園

Q 新年度予算には来園者を増やす政策を持っているか。

A 但馬牛博物館の館長を新規に採用する。加工体験を強化していく。

商工・農林水産

Q 29年度完成予定の道の駅は避難場所として使えるか。

A 防災拠点として考えている。また自家発電を太陽光で考えていて電気は確保したい。

Q まち歩き案内所の現状は。

A 今年度は多くの人に利用されている。列車待ち、バス待ちの方が利用している。地域の活性化施設として、今後ガイドを付けて町を歩いてもらい、多くの人に利用してもらおう。

Q 釜屋定置網が廃業した。今後の対策は。

A 釜屋の活性化に支障がでる。漁協と協議し、復活はしたいが難しいと思う。今後水産資源の調査も行う。

Q 昨年話題になったダイオウイカは今どこに。

A 三田市の博物館に展示されている。

Q 県営大庭ほ場整備事業の面積と地権者の数は。大雨の時にはライスセンター周辺が水につかる。ほ場整備地の内の排水は良くなるのか。

A 24.1ha、5集落、69戸となっている。県と打ち合わせをして、洪水がおきないようにする。

学校教育

Q 教育のスローガンの経緯は。今後も使うのか。

A 平成22年より使用している。今後も取り組んでいく。

Q 高校の支援教育の成果は。

A 夏に民間のDVD講座をして成果をあげている。

Q 塾のようなことは止め、環境整備にすべきだ。

A 推移をみて検討したい。

Q 就学支援制度の活用を広げる努力をすべきだ。

A 98人が活用している。PRを考えていく。

Q 地域教育はできているか。

A しっかり充実している。

社会教育

Q 婦人会活動に支援を。

A 協議して決めたい。

Q 公民館・地域コミュニティ事業多くなつて大変ではないか。

A 社会的部門だけ考えて欲しい。

Q 学校給食は現状でいいのか。

A 地産地消を心がけ、自信を持って出している。

歳入

Q 個人税と法人税が増えて固定資産税が減ったのか。

A 個人税は昨年から2000人増えて、1,000万円の増を見込んでいる。法人税は建設業、製造業が伸びて、200万円の増を見込んでいる。

Q 入湯税の額は。

A 温泉地区3,000万円、3,100万円、浜坂地区は500万円。

Q 27年度の予算編成のあり方は。

A 基金から2億円の繰入をし、人件費、扶助費を削減した。

町が生き残っていく為にも絶対に高校は守っていかなければならない。若者の定住、また移住を考えた時に高校の無い所に若者は絶対に住まない。中途半端な支援ではなく、思い切った高校支援策を打ち出して頂きたい。

反対

中井次郎 議員

介護保険条例の一部改正について

保険料の相次ぐ値上げ、当町では第6期は12.45%の値上げだ。「これ以上の値上げに耐えられない」との町民の声が聞こえてくる。介護報酬の引き下げによる特養ホームなどの経営悪化、福祉労働者の条件悪化が予想される。来年度から要支援1・2の方へのサービスは制度から外し、自治体へ移す。全ての事業が行われるのは29年度となっている。要介護1・2の方は特養ホームに入所できないなど、相次ぐ制度改悪でさらなる国民負担増と制度そのものが破綻している。

チェック! 条例改正

こんな「決まり事」になりました



放置自転車対策に着手。不用の自転車は持主が処分しましょう。

放置自転車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例の一部改正

(説明) 放置自転車等の対象に自転車を追加するために改正するもの。

Q 放置自転車はあちこちにあるがどこが対象か。
A 町有地の放置自転車が対象。

非常勤の嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(説明) 但馬牛博物館長及び地域支援活動を行う集落支援員を嘱託員とするために改正するもの。

Q 集落支援員制度は良い制度、中立の立場で活動してほしい。支援員は、公民館活動と平行して行うべき。
A モデルで奥八田地域を予定している。地域を理解している方をお願いしたい。地区公民館長はそこまでの権限がない。

Q 博物館長は何をするのか。増頭になるか。
A 但馬牛に関する多くの資料整理と、最新の研究結果に基づく但馬牛の宣伝していた。

地域活動支援センター条例の制定

(説明) 障がい者及び障がい児が、地域において自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援する地域活動支援センターの整備に伴い条例制定するもの。
△質疑なし。▽

十字谷残土処分場条例の一部改正

(説明) 山陰近畿自動車道浜坂道路事業の工事による発生残土を、温泉地域の十字谷残土処分場に搬入できるように改正するもの。

Q 浜坂道路から出る残土量は。ダンプの台数は、安全対策は。
A 残土量の最終は調整中だが、十字谷には27年度18,000m³、28年度18,200m³を予定、29年度閉鎖予定。台数は調整中だが

通学路は極力避けたい。県にも意見している。

病院事業の設置等に関する条例の一部改正

(説明) 今後の医療体制を考慮し、病床規模を縮小するため改正するもの。

Q 3月9日付の医療関係に出された文書入院の自粛は事実か。
A 事実で3月19日から医師不足で入院受入れができない旨の文書である。

Q 在宅介護や医療において公立病院は不可欠。ベット減は共通理解と認識が必要では。
A 文書は医者不足で一時的なもの。開業医との連携は従来から行っている。

新温泉町立認定こども園設置条例及び新温泉町浜坂子育て支援センター設置条例の一部改正等

(説明) 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正が施行されることに伴い改正するもの。

Q 認定こども園の指導監督はどこか。保育教諭とは教育保育要領はできておるのか。認定こども園は女性職場だが男性職員も効果的と思うが。
A 国は内閣府。今回の法改正でできた職種で両方の資格を有するもの。保育要領はこれから作成していく。男性の保育教諭も取り入れたい。

Q 現場では今回の制度改正の認識があるのか。
A 保育と教育の衝突があったが子どもには関係ない。0歳から5歳までを預かっているという意識を職員が共有する。

浜坂病院に3億5千万円繰入し経営改善。交付金で地域創生にも着手！

平成26年度一般会計予算補正額
28,897千円増額し総額は10,129,373千円

チェック！ 補正予算

まちの台所事情が
変わりました

平成27年3月補正予算 一般会計、特別会計、企業会計
(単位：千円)

会 計 名	補正額	補正後予算額
一 般 会 計	28,897	10,129,373
特別会計		
国民健康保険 事業勘定	33,381	1,922,289
八田診療所	0	12,580
歯科診療所	0	63,764
介護保険事業	△6,202	1,704,723
浜坂地区残土処分場事業	△20,273	105,852
コミュニティ・プラント事業	△250	73,504
七釜温泉配湯事業	△443	20,104
下水道事業	△14,621	904,484
公営企業		
温泉配湯事業会計	△10,766	1,002,462
公立浜坂病院事業会計	3,328	2,270,002

主なものを紹介しま
す。総務費では、英語
版ホームページ作成業
務260万円新規増
額、ふるさとづくり基
金積立金256万円増
額、地方版総合戦略等
計画策定業務委託1、
000万円新規増額、
農業委員会選挙570
万8千円減額。
民生費では、福祉医
療費や後期高齢者医療
費、児童措置費は国県
の補助金確定に伴い扶
助費や負担金を減額
したが、交付金関連
で地域消費喚起交付金
944万円は新規増額。
衛生費では浜坂病院
経営改善補助金
3億5,000
万円増額、工事
都合により北但
行政事務組合負
担金2億8,60
2万4千円減額。
労働費では
全国移住ナビ
作成業務委託
160万円新規
増額。
農林水産業
費の土地改良
費では農村災

害対策整備事業負担
金996万5千円増
額、牧場公園費では交
付金関連で宣伝用パン
フレット、翻訳DVD
作成522万3千円新
規増額。林業振興費の
各補助金は実績で1、
452万6千円減額。水
産業費は地域おこし
協力隊1名分の予算
184万円減額
商工費では、道の駅
関係で、実施設計業務
470万9千円減額、
土地購入費1,200
万円減額。交付金関
連でプレミアム商品
券発行業務3,000
万円・外国人観光客対
策の映像作成、プロ
モーション業務、広告、
公衆無線LAN工事ほ
か2,292万5千円
新規増額。遊覧船ガイ
ド養成事業124万9
千円減額。
消防費では防災行政
無線デジタル化に伴
う設計見直しにより

この度の一般会計
ほか各会計の補正予
算は、12月以降に発
生した国の地域住民
生活等緊急交付金7、
763万3千円や各業
務の収支における予算
調整と年度末を見込ん
だ補正として提案され
ました。

設計及び工事予算3、
737万2千円減額。
となりました。
今回の補正の注目点
である「浜坂病院に3
億5,000万円の繰
入及び、道の駅の用地
取得、実施設計費の越
年に伴う1,670万
9千円減額」の質疑で
は、双方ともに真の病
院再生と道の駅の順調
な建設・運営に熱の
入った多くの意見が続
出しました。

今回の補正は2、
889万7千円を増額
し、一般会計予算は総
額101億2,937
万3千円となりました。
ほか6件、企業会計で
は水道事業会計補正予
算ほか2件も議案上程
され、いずれも賛成多
数で可決承認されまし
た。

集落支援員制度とは：
総務省の支援事業で
市町村職員と連携し、
集落への「目配り」と
して、集落の巡回、状
況把握等を行い集落の
現状、課題、あるべき
姿等についての話し合
いを促進する者。

平成26年度一般会計補正予算 賛成討論

中井 勝議員
今回の補正予算はい
わゆるカンフル剤的な
補正予算だと認識して
いる。
多くは語りませんが

プレミアム商品券の発
行であったり、インバ
ウンドの対応等、期待
と希望を込めて賛成を
したいと考える。同僚
議員の賛同を心からお
願いする。

ずばり！ 町政を問う。



一般質問とは、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長に求め、町民のための適切な行政運営を進めているかを点検すること、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

本町議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができます。質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に添って質問します。一般質問の質問時間は、答弁時間を除き40分以内で、時間内であれば何回でも質問することができます。

議会広報では、質問議員が自分の質問結果の原稿（1人1ページ）を起こし掲載しています。今定例会の質問議員は11人でした。次のとおり紹介します。

頁	質問者	質問事項
9	中村 茂	①地域創生計画と総合計画の策定（人口減少に伴う施策推進） ②各種の町づくり提案及びレポートの処理と活用
10	中井 次郎	①地方創生 ②水道料金の今後 ③第6期新温泉町高齢者保健計画及び介護保険事業計画（案）
11	植田 光隆	①平成27年度に向けての所信表明 （地方創生、地域おこし協力隊、集落支援員、人口減対策、定住促進、子育て支援） ②農政改革
12	高橋 邦夫	①平成27年度予算の課題 合併10年の検証／予算編成に係る「コスト意識」とは／「元気づくりプロジェクト」の役割は何か／人と人との豊かな関係づくり／子供たちへの教育／公民館の将来／産業づくり／水道事業／浜坂病院ほか
13	宮脇 諭	①町、地域の元気づくり 地域活性化、移住・定住の促進／ふるさと寄付金の現状 ②平成27年度予算案 起業支援事業／地域おこし協力隊／道の駅整備事業／住宅リフォーム助成の成果は／浜坂病院の今後
14	西村 銀三	①町長の所信表明
15	岩本 修作	①各種提案のその後の対応 旧温泉高校跡地をサッカー場に／学校通学路の安全対策／浜坂海水浴場の景観
16	谷田 一富	①町長施政方針 ②道の駅 ③地方創生に向けて
17	谷口 功	①町長の所信表明
18	池田 宜広	①今後の施策 定住・移住等／広域観光PR事業／建物立地・設計
19	宮本 泰男	①水産業の振興 ②介護保険事業

創生戦略と本町総合計画の改訂は

町長 創生戦略は総合計画の核心、一体で進める

長期と全体視点で将来を議論

問 地域創生計画と町総合計画の策定について、平成27年度は、長期の視点と全体視点、この両面から町の将来を議論でき、住民参加によるまちづくりのチャンス。

町長 指摘のように、町の将来を検討する重要な年度。まちの課題や厳しい現実を共有し、住民と行政の協働

を一層進め、地域が一体となってまちづくりを推進する。

問 一昨年の12月定例会で、出向く行政「町政懇談会」を提案し伺ったのだが、実行できなかった。

町長 何度も指摘を受けている。このたびの計画策定は、住民の皆さん方の幅広い知見を集約するため、積極的にそういった場に出たい。

問 創生戦略の策定と本町の総合計画の改定、それぞれの計画、戦略の位置づけ、スケジュール、推進体制は。

町長 地方版総合戦略は、町総合計画の核心部分、総合計画と一体となった計画づくりのため同時進行したい。



中村 茂 議員

5月末を目途に庁舎内で課題、問題点等の整理。6月から9月にかけて住民アンケートや団体ヒアリング等、住民意向調査を実施。総合計画審議会を柱に専門部会や有識者会議、産官学、金融界等々の

部会も設置し検討。議会にも都度、協議する。概ね2月を目途に地方版総合戦略計画を策定、28年度前半には町の総合計画を作成したい。

移住定住策を体系化すべし

問 2月の政務調査で豊後高田市を勉強する機会を得た。同市は、



ピカピカの一年生。興味一杯の目がきらきら光っている。10年後、この子ども達が町に住んでくれるために今がある。

「住みたい田舎ベストランキング」で3年連続ベスト3に入った自治体。研修で感じたことは、本町の移住・定住施策（住宅・仕事・結婚・教育等）を体系化すべき。移住するならば家が要る、仕事も大事だ、独身なら結婚対策も必要、結婚したら子どもができて教育も気になる等。同市では、100近い事業で移住をサポートしている。本町の状況は。

町長 残念ながら非常にPR力が弱い。希望者にストレートに情報が入りにくい状況にある。新年度から地方への移住推進の情報を提供する「全国移住ナビシステム」に参加する予定。希望者の視点で施策を体系化し、町のホームページ等も充実し情報発信したい。

水道料金を今後上げるのか

町長 平成 29 年度は新料金でいきたい



中井 次郎 議員

問 安全な水を供給する責任は行政の使命だ。平成20年10月に「水道料金審議会の答申」が出され、新料金の適用期間は21年度から27年度となっている。改定（統合）の理由は①経営面で平成19年度の企業会計決算において、現行料金での供給単価は150円79銭、1m当たり。給水原価は203円27銭これも1m当たり。料金の回収率は74.19%と低く、収支の均衡が取れていない（赤字）。②資金

計画では補てん財源計画において、平成23年度には資金不足が生じる。平成30年度には8億円以上の累積欠損が生じるの二つだ。

町長 大変厳しい状況だ。施設や管路の老朽化、耐震化、水質の安全対策などに要する経費、経済不況や人口減少を原因とする料金収入の減少など多くの課題を抱えており、遅くとも29年度は新料金でいく必要がある。昨年12月議会に審議会に収支見通しと実際の

決算の比較表を提出したが、この審議会では水道料金をどのように統一するかが主な目的であり、収支均衡を図るところまで踏み込めなかった。

その原因は、それぞれの施設における料金格差があまりに大きかったことだ。

問 先日の環境福祉常任委員会では「水道料金審議会の答申」では、竹田新浄水場では、竹田新浄水場事業費が料金改定の原因だと答弁しているが、事業費は約18億円かかったが、この事業が改定の大きな原因になったのか。

町長 あくまで一つの原因で、原価に含まれているが、料金統一のために供給単価には反映されていない。

問 今後、審議会の予定は。
町長 平成26年度の決算が出ていない。その数字が出次第、7月ごろから審議会に審議をいただきたいと考えている。



安全な水を供給するための竹田浄水場、維持管理は水道料金を基本にしています。

行政機構を見直し、一本化(課)に

町長 現段階では困難である



植田 光隆 議員

地方創生について

問 地方自治体は国の方針を踏まえ地方版総合戦略を策定することになっている。独自のアイデアを打ち出し、積極的に活性化に取り組む「やる気」のある自治体を優先的に後押しすると言っている。我が町の戦略策定は。

町長 国の総合戦略に沿って、我が町の計画を立てて早急に取り組んでいきたい。

集落支援員について

問 27年度から1名配置となっているが、支援員の処遇と業務内容は。

町長 27年度はモデルケースとして奥八田地域の今後の振興計画等についてお願いしたい。待遇は非常勤の嘱託という身分だ。

人口減対策・定住促進・子育て支援

問 全国の多くの自治体も同じ悩みを持っている。我が町も元気づくりプロジェクトの推進の中で重要な施策として取り組み、支援策も他の自治体より先駆けて実施していると言っ

が、特に人口減少については、歯止めがかかっていない。そんな中であって我々議員は、それなりに町が活性化し成果もでている市町を視察させて頂いた。共

通して言える事は、目標を掲げ、首長・行政・議会・団体・住民が一つになり、行政組織を見直し、目標に向かって、新たな「課」を新設して効率よく職員も幅広く分担業務に当たっていた。我が町もスピーディに効率上がるように行政機構の見直しを検討されてはどうか。

農政改革について

町長 平成23年から組織・機構の見直しを進めて、今日に至っている。現段階では課題別の課を設置するのは困難である。

問 安倍政権の目指す「強い農業改革」の柱になっている、我が町の中間管理機構の進捗状況「マッチング面積」は。又、山間部の条件不利地の対応は。今後、町としてのどの様に見ているか。

町長 27年度予算化は、33ヘクタールであるが年度内にマッチング出来るか判断としない部分があるが努力したい。又、不利地での借り手は疑問に思っている。集落農場的な意味での担い手を育成していくことが大事になると思う。



担当課を明確にし、移住・定住施策を推進すべき。

地域創生の課題と「ふるさと納税」

町長 『元気づくり』 条例の範囲内が基本



高橋 邦夫 議員

合併十年の検証が重要だ

問 一体感の醸成が出来たとの事であるが、正直まだまだの感がある。そもそも「町名問題」は何であったのかの検証がなされていない。

町長 「合併後検討する」との項目があるかぎり検討委員会が設けられた。但し、検討委員会を受けての判断は私が行った。

山積している「地域創生」の課題は

問 国が支援すると言

う真意は「地域間競争」をあり、「元気づくり計画」の作成を求めている。作成のための作成となる恐れもあり、地域の独自性・アイデンティティー明確化も出来ず他地域との競争にもならない。

町長 先ず庁舎内に「元気づくりプロジェクト」を立ち上げた。その中で「元気づくり計画」と「第六次総合計画」との整合性や総合計画策定に於いては様々な団体等にヒアリングを行いたい。

夢ネットの将来は

問 無競争地域であった温泉地区（92局）でNTT光のサービスが展開され競争にさらされる。特にインターネットは今のままで「夢ネット」は生き残れるのか。

町長 今後とも「夢ネット」は情報提供ツールとして重要と考えている。

総合教育会議でのスタンスは

問 4月から法の施行により、町長が「総合教育会議」の主催者となるが、首長による民間人の校長登用など行っている大阪の府・市のような手法は慎むべきだ。

町長 行政の長として任務をわきまえている。

入込客数の把握を

問 観光振興への投資



各種のイベントにおいて正確な入場者を把握し、全体施策に反映すべき。

効果を見るうえで入込客の実数把握は必要だ。とりわけ浜坂地域に於いて手段を尽くすべきだ。

町長 浜坂地域の観光協会や旅館等に理解して頂くよう働きかける。

「ふるさと納税」のシノボルの事業を明確にしては

問 あまり報道されていないが「ふるさと納税」で受取る額より、減税で、本来ならば当該自治体に入るべき税額が上回る現状がある。カタログ通販的な競争より、寄付目的を明確にし、条例の範囲内でシノボルの事業に賛同して頂く努力をすべき。

町長 条例の範囲内において使用させて頂きたい。

若者の移住定住が地方創生の鍵

町長 幾重に施策の積み上げが必要

地方創生の鍵は

問 政治行政は豊岡、経済文化は鳥取と股裂き状態にあるわが町にとってU・I・Jターン、若者定住を如何に促進し人口の社会減を食い止め、増に転じるか地方創生とは如何に地域、地方間競争に勝ち残るかの戦いだ。
町長 社会減を押しとどめる人口政策が要である。



宮脇 諭 議員

問 地域おこし協力隊を呼び込み定住に向けた準備期間として各課横断的施策が必要。
町長 隊員受け入れのための窓口一本化への状況をつくりたい。

問 町が全国に発信したい主張が弱く、町ホームページ等情報発信力が他市町と比べ弱い。
町長 根幹となる系統だった発信が希薄であると感じている。より体系化したい。

定住と空き家対策

問 空き家対策特別措置法が2月末施行された。空き家所有者の適正管理の義務付け、行政の権限強化が盛り込まれ市町村は空き家活

用の責務が明文化された。増える空き家を子育て世代の定住住宅として優先活用すべきだ。
町長 町内に300近い空き家がある。事前調査の上、公務員たる権限の調査を展開し必

要な条例制定のうえ対応したい。

雇用創出と産業育成

問 旧温泉給食センターが地域活性化施設として町内企業に貸与された。町内産業の活性化と雇用創出は町政の要だ。一旦その使命を終えた施設であり政策的に原則無償貸与すべきではないか。

病院経営の現実

町長 賃料は敷地固定資産税相当額として算出した。今後状況を踏まえ対応したい。

問 全国自治体病院961の中で資金不足に陥っているのは一部事務組合を除き16経営体であり25年度決算全国ワースト7位、26年度2位？というのが浜坂病院の状況。26年度予算補正で3億5千万円の緊急補助の背景は。
町長 26年度決算で資金不足比率が20%をはるかに超える状況となったため補正を願うもの。

問 今後、巨額の補助支援が続くなら全町的な医療の位置づけの議論とコンセンサスが必要。
町長 置かれた環境の中で最低限の医療と健全性を守りたい。



待ったなし、抜本的な経営改善が求められる浜坂病院。

保育料・学校給食費を無料に

町長 現段階では難しい



西村 銀三 議員

27年度予算を問う

問 人口減少をどう抑えるかが第一命題だ。27年度予算では、重点施策122の内、新規施策は実質4つしかない。昨年は130の内22もあった。これで町は元気になるか。

町長 継続事業で限られた財源の中で対応している。

問 合併10周年を機に、小学校などの廃校を利用し、地区の拠点としての歴史資料室を作っているかどうか。統合によって、学校の校歌、校章、校訓、学校長など先人が取り組んできた

た歴史を伝えることが重要だ。

町長 私も同感であり、趣旨は受け止めさせていた。



少子化、子育て教育を担う認定保育園、利用しやすい条件整備が必要。

問 現在、国をあげて少子化対策、子育て環境の改善に取り組んでいる。入園式を保護者が出席しやすい土曜日、日曜日にしては。保育時間を、延長保育でなく、保護者の実態に合わせてどうか。また、保護者から保育料を5400万円貰っているが、無料化を検討してどうか。

町長 勤務などの問題点はあるが、できるだけ対応を考えたい。当面延長保育でいく。無料化は困難だ。

問 学校給食センターが浜坂に統合された、温度低下などおいしくなくなると聞かれました。実態調査をしては。また、学校給食費として現在約5,000万円徴収しているが、子育て政策の充実、将来の町づくりの基本政策として無償化を考えては。

町長 町財政は非常に厳しいので現段階では難しい。

問 観光は町の目玉で浜坂観光協会には600万円、湯村温泉観光協会には1,300万円毎年補助金が出ている。町長が言う大交流時代にふさわしい対応が必要ではないか。

町長 それぞれの協会

が人的体制を整え連携しながらやってほしい。

問 29年度完成をめざし浜坂道路の工事が進んでいる。道の駅の事業費7,700万円も予算にあがっている。期待と不安について尋ねる。

町長 マイナス面はあるかもしれないが、プラス面を取り込み観光に活かしたい。

問 予算の中で最も大きいのが豊岡に建設中のゴミ焼却場の負担費用7億5千万円だ。豊岡は便利になるが、一番遠いわが町は不便になり、さらに持ち込み運搬費は各町で負担しなければならぬ。ゴミ量で負担金も変わる。ゴミゼロの取組を徹底すべきだ。

町長 ゴミを徹底的に資源化、減量化する以外に手立てはない。その努力をやっていく。

旧温泉高校跡地にサッカー場を

町長 調査しながら対応していく



岩本 修作 議員

問 前回の6月の一般質問で、旧温泉高校跡地にサッカー場をという質問に対し、検討していくと言ったが、その後どういった検討、対応してきたのか。

町長 生涯教育課で検討を重ねてきたが、旧温泉高校のグラウンドは、90mのほぼ正方形で、成人用の公式グラウンドと縦105m横68m必要ということで、现阶段では非常に困難である。

問 私が調べたが、縦は90mから120m横は60mから90m、この幅があれば公式の大会ができると聞いたが。

町長 提案の90mあればよいということであれば可能性としてはあるんじゃないかというふうに思う。

問 今、但馬には日高、出石まで行かないと公式の試合ができるサッカー場はない。ぜひ、サッカーだけじゃなくてもその他のスポーツも利用できる、サッカー場をつくるべきだ。

町長 私どもも中途半端なことをするより、旧温泉高校の今後の企業誘致としても、非常に困難である。せめてグラウンドだけでも住民

の皆さん、競技者の方々に提供できるならば、専用グラウンドを設置できる可能性もある。

学校通学路の安全対策は

問 南線の通学路で道路横断するのが危ないため信号機をつけてみては、という質問をしたが公安委員会と協議した結果見送りになった。通学路の問題はたくさんあるが、順番で決めているのか。どういった基準で決めているのか。

町長 予算決定の中で、交通量、現地の危険度といったところを判断して信号機の設置をしている。あと詳しい中身は公安委員会の判断

になる。

浜坂海水浴場の景観は守られているのか

問 海岸沿いの道路に大量の砂がたまっている。観光客に見られても恥ずかしいし、車で走っていても非常に危

ない。いつになったら撤去するのか。

町長 今までから度々こういう状況になっている。通行等の関係もあり、適切な維持管理、撤去をお願いしている。今現在、悲惨な状態になっていて改めて県に連絡をしていく。



サッカー場整備に期待される旧温泉高校グラウンド、ジオパークの推進のためにも海岸線の環境美化が必要。

地域と行政、同じ夢に向かって行動する指針となる目標は

町長 行政的には総合計画で掲げられる目標を指すものである



谷田 一富 議員

問 町長の施政方針を見ても来年度何がしたいのかよくわからなく、具体的な表現ではなく、具体的などのような事をした方がいいのか。2040年には人口は半分近くまで減少すると言われている。町民の皆さんは大変不安に感じている。その不安を解消すべく指針となる目標を具体的に示すべき。

町長 所信表明はどうしても抽象化された表現にならざるを得ないと思っている。

問 先日視察に行くチャンスがあった、大分県豊後高田市では市長

のリーダーシップのもと、現在の定住人口2万4千人を3万人にするという誰にもわかり易い目標を設定し、その実現のためなら何でもするという姿勢で取り組んでいる。また市の職員の皆さんも目標という冠がついているから仕事しやすいと言ってお話であった。やはり町民の皆さんに夢と希望が持てる方向に導いてくれるような目標が必要に思うが。

町長 それはそれで結構な事だと思っ

集落支援員について

問 集落支援員を設置するにあたり、どのくらい先進地へ訪問し、研究したのか。

町長 具体的にそこへ訪問してという形での予算計上ではない。

問 施政方針の中で新しい言葉は集落支援員事業の1件だけである。試行的に1人の設置だそうだが、先進地をもっと研究してから事業として取り組むべきだと思おうか。

町長 この町の実態を把握しながら必要な人員を配置していく。計画として1人配置でいいと思っ

道の駅について

問 用地買収費が昨年の3倍近く増えているがなぜか。

町長 26年度は県で補



整備の具体化により用地取得面積が5千㎡となる道の駅。

正がつくかもしれないということ、とりあえず予算化したものがある。

問 予算が3倍に増えるということは当初聞いている用地面積は3000平米の3倍ぐらいの広さになるということか。

町長 県との調整協議の結果、用地面積は5000平米での予算計上でしたものである。

問 全国に1,040カ所の道の駅があるが、何カ所ぐらい訪問したのか。また我が町に合うようなモデルとなる道の駅はあったか。

町長 昨年6月に「道の駅とうじょう」1カ所視察に行った。規模的には当町より若干広く、レストラン系統、情報発信コーナー等を研修した。

国の悪政から町民の暮らしを守れ

町長 「戦争立法」を止める平和の行動を



谷口 功 議員

問 合併から10年が経過する、新たな「総合計画」をつくるためにも、この10年の総括が

地方創生は独自の努力が必要だ

町長 実際問題として、どういふものが可能であるか、そこは慎重に検討したいと思っています。

問 第2次世界大戦から70年の節目の年、「恒久平和の町宣言」をしている町として、平和を守る行動が必要ではないか。

必要ではないか。

町長 28年で終結する総合計画の評価の中で、合併の評価も連動させて出てくるのではないかと考えている。

問 合併10年間の総括が可能なものか。国・県から、財政対策・人口減対策・住民の生活範囲が広がった等の理由で合併を押し付けられ、今また、人口減

少だ、地方創生だと新たな押しつけが始まっているのではないかと。地方創生法がどういう位置づけかということは、非常に難解な質問であり、答弁が難しいと思っています。

必要な介護サービスの提供を

問 第六次介護保険計画は、保険料は上が



平成27年度末で閉鎖となるクリーンセンター、跡地の活用が求められている。

るがサービスは削られる。計画書の内容は分りにくい。介護保険事業から外される要支援1・2の対応はどうするのか。

町長 指摘があったように、委託したコンサルの手法で今回の計画書ができ上がったという。別の形で資料はきちっとつくっておきたい。困難で厳しい課題だ。

道徳の教科化はどうなるのか

問 民主的な市民道徳を生徒がきちんと身につけることは大事なことで。現在は、先生方の自主的な教材をもとに、それぞれ自由に道徳を指導されていると理解している。ところが、国の一定の基準、判断のもとにつくられた教科書で道徳が授業として行われるとされているが、どうなのか。

町長 道徳は道徳的信

条を培い、人間尊重の価値を身につける。価値あるものを受け取るのではなく、それはお互いの価値葛藤を通して見つけていく、道徳の教科化、道徳の時間をこれまでどおりに進めていく。自主教材等も含めてカリキュラムを組んでいくということになっていくと思う。

ごみ処理は焼却が最善か

問 北但ごみ処理施設の施設建設が始まるが、全国的にごみを焼却せず資源化している自治体が増えてきているが、現時点でも焼却処理が最善だと判断しているのか。

町長 北但の焼却処理方式は現段階では、それなりの評価を受けたものと思う。できるだけ町の責任で資源化をして排出量を抑える努力で、より実効性の高いものにする必要がある。

低所得者層への家賃補助を急げ

町長 必要なものとして検討する



池田 宜広 議員

「低所得者層」の現状把握は出来ているか

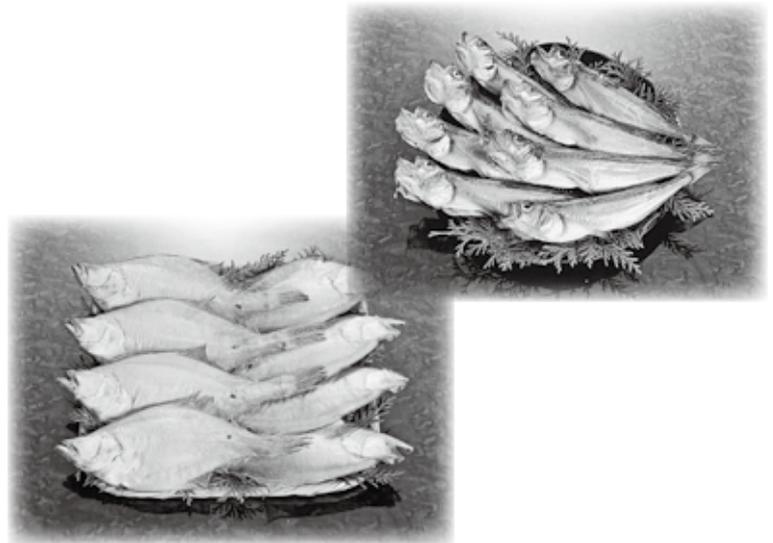
問 20歳〜39歳への首都圏でのアンケート結果であるが、親と同居する理由で約半数を占めているのは低所得のため、家賃及び住宅ローンが負担できないからである。所得が低く親と同居しているほど結婚の予定も少ないようである。すなわち晩婚化、少子化の原因の一つとして浮かび上がってくる。決して親との同居が悪いわけではないが今、親の持ち家がセーフティネットとして機能してし

まっている。しかし持ち家も必ずしも安定はしない、経年劣化等による不安定要素も多抱えている。今ある定住促進住宅助成金事業等は、一時的な助成である。今後は安定的かつ継続的な家賃助成事業が必要ではないか。

町長 今ある住宅支援制度を一層住民の皆さんに周知をして、家賃補助については自立支援法等を検討しながら、我が町での対応というところも検討していく思いである。

「広域観光PR」は充分にできているか

問 首都圏にて全国町村会の主催で隔年ではあるが「町イチ！村イチ！」という観光資源及び特産品のPRを行う事業があり、当町も過去2回の参加をしたようだが、その効果は



町の特産品で町をピーアール「町イチ！村イチ！」事業に継続参加。

出ているのか。

町長 1回目は「観光パンフレット」のみで参加、2回目は特産品の販売も兼ね「ちくわ」を持つての参加で、今年には漁協の協力も得て海産物等を持参する予定である。その効果は実際問題として把握はしていない。

問 ただPR活動に行

くだけではなく効果を調査し次のPRへと繋げていくべきだ。

町長 PR活動が大前提だが、今後はその効果測定調査も注意しながら努めていく。

問 今年は新たに定住促進ブース、キャラクターの同行、バイヤーも多く参加するようであるので、他町村の状況も見てくるべき。

町長 気を引き締めて一層のPRに努める。

公共施設の「設計・立地」今後は

問 住民のニーズが充分に反映され、当地域にマッチした設計、利用者にもマッチした立地でなければならぬが今後の方針は。

町長 気象環境等、実情に適した施設建設でなければならぬと思っている。

地方創生で水産業活性化、再生を図れ

町長 浜の活性化、「戦略計画」策定が求められていると認識している



宮本 泰男 議員

問 浜坂漁協の情勢は水揚高、平成20年32億円が、26年25億6千万に減少した。経営体数は沖合底引漁業平成20年17隻が26年15隻に、沿岸イカ漁業20年38隻が26年24隻に減少した。また27年正月明け当漁協に唯一あった定置網漁業が2月末で廃業した。漁業経営は極めて厳しい状況である。町長はどのように感じているか。

町長 一層厳しさを感じる。釜屋の定置網が止めると聞き漁業の魅力

地方創生、水産業の予算化が無い

問 平成27年度予算に地方創生の中、水産業振興策の新規事業は「地域おこし協力隊事業」1件のみである。漁業者は期待はずれ残念がっている。

町長 漁協取り組み事業で必要なものは継続している。地方創生関連づけ予算は27年の戦略計画の策定が大前提である。交付金の交付額等今後の話である。

漁協の要望事項早急に予算化を

問 要望事項
1、沿岸漁業に従事す

る漁船の燃油代への直接的支援

2、セーフティーネット構築事業、積立

金助成

3、ホタルイカ流通用

発泡スチロール箱

助成支援

以上の項目は漁業経営体維持のため、緊急、重要な事業である。予算化を



燃油対策が求められる地域の漁業（浜坂漁港）

算化をすべきだ。
町長 27年戦略計画の策定には沖合底引き、沿岸イカ釣り、浅海漁業等が当面する課題、浜の活性化、観光を含めトータルな対応をすすめる。

介護保険事業について

問 第6期介護保険事業が開始するが前期との変更点の説明を求めらる。

課長 今まで全てのサ

ービスが介護保険でしていたものが、施設については要介護3以上でないとは原則的に入れない。要支援1、2が訪問介護と通所介護は地域の総合事業に変わる。医療と介護の連携は順次29年度事業を考える。

問 包括ケアシステムの構築の具体的内容は。

課長 医療機関、介護施設、通所サービス、老人会、自治会、ボランティア等の連携で「一人の方を守っていく」。対応する地域包括支援センターの充実、体制整備どうするのか。また高齢者に親切、丁寧、真心のこもった介護事業推進を期待する。

町長 将来的に中学校区にいか所ずつにつくりたい。（29年までに整備する。）この町に住んで良かったと思える、満足度が高まる地域ケアを進めたい。

総務教育常任委員会

平成27年3月13日開会

子ども教育課

報告事項

Q 不登校に対する原因・対策は。精神的な体調不良が主な原因であり、家庭訪問等に対応しているが、解決には至っていない。

A 今40人といったクラスのクラスになっていく学級もあり、それを現行制度の中で少人数編成にしていこうと考えている。



異物混入に対しチェック機能の強化が必要。

Q 給食に髪の毛の混入が多いが、食べ物で髪の毛が入っていることは最低である。

A 髪の毛に限らず異物混入があった場合、その都度に終礼等で協議し以降の対策を話し合っている。

企画課

地域おこし協力隊

Q 隊員も、受け入れる側の意欲が感じられない。

生涯教育課

報告事項

Q 前田純孝賞において受賞者への副賞はどのようになっているのか。

A 中高生の部の前田

なくては、なかなか応募してこないのでは。

A 全国移住ナビの中にPR資料を作っている、ホームページにバナーを一カ所として貼り付けていきたい。



早期の耐震化工事が望まれる夢ホール。

純孝賞には5,000円の図書カード、準前田純孝賞には3,000円の図書カード。大学生の部では前田純孝賞には賞金10,000円、準前田純孝賞には賞金5,000円としている。

Q 夢ホール玄関を見るに、相当沈下しているのではないか。

A 新築は財政面から困難であり、耐震診断をし改修を検討する。

Q 中学生の海外研修で燃油サーチャージ(特別付加運賃)が町負担になった事により、参加者の負担はどのようになるのか。

A 昨年までの128,000円が、本年度より86,000円に軽減される。

総務課

臨時職員の募集及び採用者について

応募者 211名
 受験者 207名
 合格者 187名
 合格者の内訳
 継続者 169名
 新規者 18名

税務課

Q 徴税等の徴収状況はどうか。

A 昨年度とほぼ変わりなく推移している。

産業建設常任委員会

平成27年3月9日開会

牧場公園課

報告事項

Q 来園者が減っているが調査したか。

A 内容等分析してみたい。ホームページの充実も図り頑張つて行きたい。

Q 地域おこし協力隊募集の経過と応募がなかった理由は何か。

A 飼養管理技術、知識を身につけ地域の和牛振興に参加して頂く予定であったが、応募がなかった。各方面に話を繋ぎ、今後の感触も頂いている。

協議事項

町非常勤の嘱託員・報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

但馬牛博物館長を配置する。

Q 人件費は、県費か。県費でお願いして

いる。

農林水産課

報告事項

26年度、人・農地プラン策定

・西浜・八田地区のプランを作成し、町全域のプランが決定した。

Q 大規模農家とは、専業農家の基準は。

A 1 ha以上である。

26年度産水稲作付け状況・27年度産生産数量目標について

Q 水稲の販売額、品目等は。

A 農協の販売はわかるが、自主販売はわからない。

中山間地域等直接支払制度(第4期)の概要

・加算措置として、超

急傾斜農地保全管理に付き新規に加算がある。

畜産振興事業の要綱の一部改正

Q 良い子牛を残さないと良い子牛を産まない。

A 町の施策において早い段階で次の手を考えていきたい。

・県生活研究グループに於いて(ホタルイカつくだ煮)が県知事賞を受賞した。

・第十一回全国草原サミット・シンポジウムを28年度開催したい。昨年は熊本県の阿蘇で行った。

建設課

報告事項

下夕山公共建設残土処分場の安全監視について

Q 跡地利用は。



新残土処分場候補地(浜坂健康福祉事務所裏手の山林)

A 下夕山はもみじ公園に、十字谷は一部町道に利用していく。

(新)残土処分場事業

Q 浜坂、温泉地区二カ所で検討したのか。

A 浜坂一箇所を考えてきた。地滑り、砂防等安全面を第一に選定した。

商工観光課

事業報告

観光施設等利用状況

Q イベント客数の実

数をつかむ努力を。A 駐車場でのカウンとか方法等を考えて見たい。

道の駅事業について

Q 面積を変えた理由は。基本計画が示されていない。

A 県と共同事業で進めている。基本設計は今月末にできあがる。3月25日に計画書を提出する。

協議事項

26年度町一般会計補正予算(第8号)

Q プレミア商品券は経済効果があったのか。

A 商品券は、前回800世帯が利用している実績がある。消費拡大に繋がっていききたい。

・但馬海岸遊覧船は山陰松島遊覧船に経営を譲渡し3月1日から運行。

環境福祉常任委員会

平成27年3月11日開会

上下水道課

二日市配水池移設・送配水管布設替工事

工事費 約10億円

Q この工事が必要になった理由は何か。

A 老朽化の為、現在の配水池(タンク)は人家の上であり、何らかの原因で落下すれば、大変な事故になる。それに加え、耐震化をする。

水道事業・浜坂温泉配湯事業の料金改定。下水道料金の料金改定。そのための審議会を設置したい。

Q 料金を上げるためのものか。

A 浜坂温泉配湯については基本料金が高すぎるとの意見がある。水道料金は旧審議会の答申では、平成27年までの料金となっており、収支決算に合わせ改定する必要がある。下水道料金は合併

健康福祉課

地域活動支援センター事業

Q 工期はいつか。

A 3月25日を予定している。

Q 工事現場を見たが不可能だ。遅れた場合の対応は考えているか。

第6期新温泉町介護保険事業計画

Q 計画策定作業の段階で委員会に提出し、審議したいと要望していたが、できなかったのはなぜか。

A 第5期計画と比べ、国の基本的な考え方が示された時期が大幅に遅れ、町の策定作業が大幅に遅れた。

Q 包括支援センターの事務所がどこにあるのか分からないとの声が出ている

時に先送りされた。料金体系を一本化したい。

A そのような声が出ていることは承知している。場所確保は建物改造を伴うのでできない。



高齢者福祉や介護等の相談に応じる地域包括支援センター(役場内)

町民課

北但ゴミ処理施設整備事業

Q 豊岡市竹野町坊岡の現場では、造成工事や、現場の管理ミスで3万5千mの残土が発生した。その処理費用は約1億9千万にもなる。しかも、資材や人件費の高騰で事業費が増額になる。今後は建物建設に着手される。ゴミの収集運搬計画を策定するのか。

A 平成27年度中に策定する。

消防・救急無線のデジタル化、緊急放送

Q なぜ必要か。

A 電波法で現在のアナログ無線は平成28年5月31日を過ぎると使えなくなる。

Q 全町に緊急放送をできるのか。

A 現在は旧町ごとに放送している。同じ内容を同時に、放送できるように、栃谷から役場まで光ケーブルでつなぐ。

公立浜坂病院

新温泉町病院事業の設置に関する条例改正

Q 国の医療費抑制策があり、全国的に公立病院の経営に困難もたらされている。しかし、当病院の役割は大きい。医師を確保して、ベッド数を減らすべきではない。

A 国から出てくる地方交付税も、実際に稼働しているベッド数を基準とされる。現在でも3階は閉鎖してあり、55床が稼働している。

平成26年度新温泉町公立浜坂病院事業会計補正予算

Q 3億5千万円の経営補助をする原因は何か。

A 病院建設以来の債務が積み重なり、資金不足が生じている。

Q 来年度以降はどうなるのか。

A 医師確保や経費の削減を行い、経営を少しでも良くしていくことにより、補助金の額を減らす。

3月27日 公立浜坂病院 医師と職員の採用

・細川裕平(医師65歳) 公立浜坂病院在宅診療部長兼岸田出張診療所内科医長

・八幡晋輔(38歳) 医師確保担当
・土江克彦(参事58歳) 医師確保担当
4月1日より雇用

採決一覽

議会日誌

第72回定例会 議案採決一覽表 (H 27.3)

議案名	議員名																賛成	反対	採決
	1 中井勝	2 宮本泰男	3 小林俊之	5 池田宜広	6 中村茂	7 岩本修作	8 谷口功	9 植田光隆	10 宮脇諭	11 西村銀三	12 谷田一富	13 岡坂峰雄	14 高橋邦夫	15 中井次郎	16 西村敏弘				
新温泉町議会委員会条例の一部改正について	○	欠席	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	11	2	可決	
新温泉町介護保険条例の一部改正について	○	欠席	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	10	3	可決	
新温泉町介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定について	○	欠席	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	10	3	可決	
新温泉町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	12	2	可決	
平成26年度新温泉町一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	11	3	可決	
平成26年度新温泉町公立浜坂病院事業会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	13	1	可決	
平成27年度新温泉町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	10	4	可決	
平成27年度新温泉町介護保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	11	3	可決	
平成27年度新温泉町浜坂温泉配湯事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	13	1	可決	

○は賛成、×は反対、－は議長職のため採決に加わらない。(全員賛成議案は省略)

議会日誌
<p>27日 環境福祉常任委員会</p> <p>24～25日 予算特別委員会</p> <p>19～20日 予算特別委員会</p> <p>13日 総務教育常任委員会</p> <p>11日 環境福祉常任委員会</p> <p>10日 美方郡広域事務組合議会定例会</p> <p>9日 産業建設常任委員会</p> <p>5日 議会広報調査特別委員会</p> <p>5日 全員協議会</p> <p>3～27日 第72回議会定例会</p> <p>(3月)</p> <p>26日 但馬空港推進協議会総会(後期)《豊岡市》</p> <p>26日 議会運営委員会</p> <p>24日 北但行政事務組合議会定例会《豊岡市》</p> <p>23日 但馬広域行政事務組合議会定例会《豊岡市》</p> <p>20日 全員協議会</p> <p>18日 例会及び評議員会議《神戸市》</p> <p>18日 兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会定例会</p> <p>5日 環境福祉常任委員会</p> <p>4日 北但行政事務組合議会定例会《豊岡市》</p> <p>(2月)</p> <p>29～30日 議会広報研究会及び議会広報調査特別委員会視察研修《神戸市》</p> <p>28日 北但行政事務組合議会運営委員会《豊岡市》</p> <p>13日 議会広報調査特別委員会</p> <p>6日 議会広報調査特別委員会</p> <p>(1月)</p> <p>26日 美方郡広域事務組合議会臨時会</p>



挿し絵 清水伸子氏

もつと自転車走れる環境を

HEART BEAT (新温泉町千原)

代表 高垣 茂 光

スポーツ自転車の普及と愛好をめざし、レースからツーリングイベント、自転車講習会・練習会を開催している。1989年に高校の卒業仲間と加古川でサイクルクラブ「HEART BEAT Company」を設立。翌年に新温泉町に拠点を置き同級生や町商工会青年部仲間と活動を始めましたと、話す高垣代表は高垣自転車店の後継者で事業主です。

その後、2003年度にクラブメンバー有志で実業団チーム「HEART BEAT Racing 但馬」として登録。但馬代表としてツアーレースに参戦しています。主な参加イベントは、シマノ鈴鹿ロード、美山サイクルロードレース、関西シクロクロスなど。メンバーは但馬在住の男性25名、(その



クラブ結成25周年に集まったメンバー (H26.12.21 商工会館)

うちBCF登録選手8名) 女性6名で合計31名。自分のペースを第一に自転車で出来ることに挑戦しながら生活の一部として楽しんでいると、メンバーを紹介。もつと自転車走れる環境を作りたい。そのために私たちがモラルとマナーを実践し、先駆者として但馬を引っ張っていきたくい、今後を熱く語り、自転車は軽車両で車道を走行しないといけません。自転車と自動車の共存、協力をお願いしますと、他の愛好家にも言葉を加えられた。

さらに、「自転車に限らず何か一生懸命している団体や個人がいるはず。地域に眠っている可能性を育ててほしい」と、結んでくれました。

編集後記

春は、卒業と同時に入学の季節です。認定子ども園の入園式に案内をうけ、「今日はどんな光景が…」と想い喜んで出席しました。

式場に入ると、何か落ちつかない様子と、話し声や泣き声があがっていました。2週間前の卒園式に感じた、子どもながら凛とした顔と、緊張感のある全体雰囲気から一転した状態に。しかし瞬間に、これが自然で当然なこと。正に教育が生み出す成長の成果です。人間づくりのために家庭、園(学校)地域が一致団結。1年後が楽しみです。ご入園おめでとう。(S・I)

次回定例会は6月です。傍聴してください。

議長	中村 茂
副議長	池田 宜広
委員	小林 俊之 岩本 修作 植田 光隆 中井 次郎

発行者 議長 西村敏弘